ＰＤＡ 関西高等学校即興型英語ディベート交流大会 2022

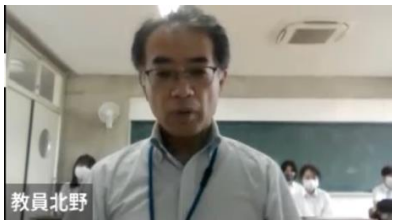
一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022 年 8 月 27 日（土）09:30-14:00
会場：オンライン（Zoom）
参加校：6 校、18 チーム（奈良県立奈良高等学校・滋賀県立彦根東高等学校・兵庫県立神戸高等学校・大阪府立北野高等学校・京都市立堀川高等学校・滋賀県立膳所高等学校）
参加者：生徒 41 名、教員 12 名
スタッフ：PDA スタッフ、PDA 認定教育ジャッジ、九州大学

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION
KDDI Foundation

開会式では、一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）代表理事中川智皓より、「みなさんがこれから生きていく中で、『英語で伝える力』と『伝える内容』がとても重要です。ジャッジの先生からのコメントを次のラウンドで活かすよう頑張ってください。」とメッセージが送られました。次に、大阪府立北野高等学校の天野校長先生より、「今日は、みなさんが英語で表現し、知識を広げ、論理的に考え、プレゼンテーション能力を養う絶好の機会です。楽しみながら頑張ってください。」と英語でご挨拶いただきました。次に、滋賀県立膳所高等学校の冨江校長先生より、「コミュニケーション能力を養うことが重要です。ときには間違い、他校の生徒と様々なことについて話し、思い出を作ってください。」と英語でご挨拶いただきました。

PDA 代表理事中川よりご挨拶



天野校長先生（北野高校）よりご挨拶

冨江校長先生（膳所高校）よりご挨拶

そして、PDA スタッフより、参加校の紹介やジャッジの紹介、ルールの確認、POI(Point of Information)の練習などが行われました。

POI の練習

北野高校 開会式の様子

POI の練習が終わると、早速第 1 ラウンドの始まりです。第 1 ラウンドのお題は「**Ranking children in sport events at kindergartens and elementary schools should be abolished.（園や学校の運動会での順位付を廃止すべきである。）**」でした。肯定側は自信をなくし、運動が嫌いになる問題や、いじめにつながるといった点について説明し、否定側はモチベーションにつながる、むしろ協力して練習しようというムードになる、社会では順位付されるのだから早いうちから慣れるべきなどの点について説明しました。POI を通して質疑応答をする様子も見られ、「普段の体育の授業ではなく運動会だけであれば問題ないのではないですか。」など、内容に言及した質疑に果敢にチャレンジする場面も見られました。ディベートが終わると、お互いの健闘をたたえ、エアー握手を交わしました。

ジャッジのフィードバックを待つ間、「何年生ですか？」「部活していますか？」「文理選択はどのようにして決めましたか？」とお互いに質問し、交流を深めました。

POI！（膳所高校 B VS 北野高校 B）

ディベート後のエアー握手（神戸高校 A VS 北野高校 C）

続く第２ラウンドのお題は、「***Japan should promote the use of nuclear power plants.***（**日本は原子力発電所の利用を進めるべきである。**）」でした。肯定側は、地球温暖化が深刻であり、環境に優しい発電が重要であるという点について、否定側は、原子力発電所の危険性を説明しつつ、代替案の方が良いという点について主張しました。第１ラウンドよりもさらに POI が活発に行われ、白熱したディベートとなりました。

POI！（奈良高校 A VS 北野高校 A）

POI！（神戸高校 A VS 奈良高校 B）

ディベート後のエアー握手（北野高校 B VS 堀川高校 B）

膳所高校 A チーム

膳所高校 B チーム

奈良高校 A チーム

奈良高校 B チーム

彦根東高校

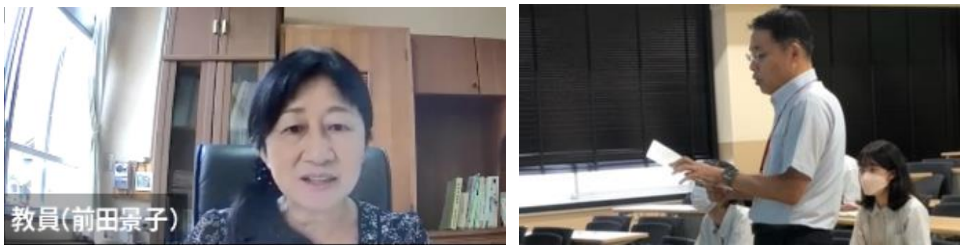
北野高校

そしてジャッジが高く評価した生徒６名によるエキシビションディベートが始まりました。論題は「***STEAM education should be prioritised over English education.*** **(英語よりも、STEAM を学ぶべきである。)**」でした。肯定側は、STEAM 分野に関心を持つ人が減っているという問題を背景に、STEAM を学ぶ必要性について主張しました。そして否定側は、色々な人とコミュニケーションをとるためには英語を学ぶことが必要だと主張しつつ、肯定側の主張に対しても、STEAM を学ぶ上でも英語が必要になると返答しました。ジェスチャーを交えたスピーチをしたり、果敢に POI にチャレンジしたりしました。勝敗はエキシビションディベートを聞いていた生徒と教員が挙手で投票し、Government（肯定側）の勝利となりました。

エキシビションディベートの様子

エキシビションディベートでの POI

閉会式では、表彰が行われ、最後に奈良県立奈良高等学校の前田校長先生と滋賀県立彦根東高等学校の伊吹校長先生からご講評をいただきました。前田校長先生より、「多くの英単語を使って、論理的に相手に伝える力は今後グローバルに活躍するみなさんにとっては重要なスキルです。また、幅広い知識やコミュニケーション力などを身につける大会になったと思います。この大会で得た力を今後の朝鮮に役立ててください。」と労いの言葉をいただきました。伊吹校長先生より「今日は英語の力を試し、プレゼンテーションスキルをブラッシュアップする機会になったのではないかと思います。色々なことを学べた日になったのではないでしょうか。これからも頑張ってください。」と英語でご講評いただきました。最後に PDA 代表理事の中川智皓より、「日々情報収集しながら、自分はいまどのような力を身につけたいか、身につける必要があるのかということを考えることが重要です。今日の大会で終わらず、今後も「考える」という場面で、ディベートで得た学びを活かしてください。」とメッセージが述べられ、関西交流大会 2022 が終了しました。



前田校長先生(奈良高校)によるご講評　伊吹校長先生(彦根東高校)によるご講評

【表彰】

〈エキシビションディベータ賞〉

・ＰＭ　北野高校　＿＿＿＿＿さん
・ＬＯ　堀川高校　＿＿＿＿＿さん
・MG　彦根東高校　＿＿＿＿＿さん
・MO　神戸高校　＿＿＿＿＿さん
・ＬＯＲ　膳所高校　＿＿＿＿＿さん
・ＰＭＲ　奈良高校　＿＿＿＿＿さん

エキシビションディベータ賞

〈チーム賞〉

１位　奈良 A
２位　北野 B
３位　神戸 A
４位　神戸 B
５位　北野 A

１位 奈良高校 A チーム

２位 北野高校 B チーム

３位 神戸高校 A チーム

４位 神戸高校 B チーム

５位 北野高校 A チーム

〈ベストディベータ賞〉★は 2 回選ばれた生徒

- _____さん（北野 C）★
- _____さん（堀川 B）★
- _____さん（堀川 A）★
- _____さん（奈良 B）★
- _____さん（奈良 A）★
- _____さん（神戸 A）★
- _____さん（北野 B）
- _____さん（北野 B）
- _____さん（北野 A）
- _____さん（彦根東）
- _____さん（奈良 A）
- _____さん（奈良 A）
- _____さん（神戸 B）
- _____さん（膳所Ｂ）
- _____さん（膳所 A）
- _____さん（膳所 A）

ベストディベータ賞

〈POI 賞〉★は 2 回選ばれた生徒

- _____さん（北野 B）★
- _____さん（北野 A）★
- _____さん（神戸 B）★
- _____さん（堀川 B）★
- _____さん（北野 C）
- _____さん（彦根東）
- _____さん（堀川 A）
- _____さん（奈良 B）
- _____さん（奈良 B）
- _____さん（奈良 A）
- _____さん（奈良 A）
- _____さん（神戸 A）
- _____さん（膳所Ｂ）
- _____さん（膳所 A）

ベスト POI 賞

参加者の声（アンケートより抜粋）

（生徒の声）

・自分達の論を客観的に見ることは大事だと分かった。（膳所高校）
・初めての体験で、色々な人と英語を用いて交流出来て良かったです。（奈良高校）
・今まで考えたことのなかった考え方を知ることができた。他校の人と交流できて貴重な経験になった。（奈良高校）
・他校の人と話したり、好評を聞き自分の視野が広がった気がします。（堀川高校）
・自分が言いたいことを、英語ですぐに言うことがなかなかできなかったので、スピーチの力を付けていきたいなと思いました。（膳所高校）
・今日は、2ラウンド続けてのディベートで一回目よりも二回目で成長したディベートをできたと思うのでよかったです。とても楽しかったです。（神戸高校）
・ディベートを通して普段関わることのない人と関わることができ、英語の力が伸びたと感じる。また、今の社会状況などについての見解を深める機会にもなった。（神戸高校）
・今回2回目のディベートを行い、前よりも自分の意見を説得させれるように言えるようになってきました。今回改善点で言われたことを次回に活かしたいと思います。（堀川高校）
・意見を英語で伝えることが難しくもあり、楽しくもありました。またやりたいです。（神戸高校）
・今日は貴重な機会をありがとうございました。即興型ディベートはなかなか難しく、毎回反省点は尽きないですが、この6校のディベートを聞いたり、実際に対決したりして、このような人がいるのだと知りました。とても今回はハイレベルで楽しかったし、勉強になりました。（堀川高校）
・楽しかったです！！（北野高校）
・論題に対しての自分たちの考えを広げたり、実際にどうやって話せばよいのか考えながらディベートをしていく中で、いつも以上に英語で話す臨場感や実感が高まり、また自分の主張する意見自体へも、より注意を向けたり、話の流れを確認しながら考えることで、より明確な主張ができた。（堀川高校）
・論題が今の時事に沿っていてよかった。（北野高校）
・大会に参加するのは初めてで緊張もありましたが、自分の精一杯を尽くせたと思います。自分にとって非常に意味のある大会になりました。（北野高校）
・すぐに頭の回転を利かせることの特訓になり、とても有意義でした。（彦根東高校）
・普段は校内だけで練習しているので、他校のディベートを見ることはとても刺激になった。自チームの弱点もはっきりわかり、とても有意義な試合だった。（北野高校）
・限られた時間内で効率よく動かなければならなかったので焦った場面もありましたが、その中でもなるべく詳しく、伝わりやすいように説明することを意識しました。（神戸高校）
・他の生徒さんの英語力に圧倒されました。タイムマネジメントや英語で言いたいことが言えなかったりなど、上手くできなかったことも含めいい経験になりました。（彦根東高校）

（教員の声）

・zoomだと場所を問わず交流できるのがよいです。また実際に対面でやっている様子も見てみたいで

す。

・非常に楽しく参加させていただきました。1年生6人での参加でしたが、積極的にPOIをしてみたり、チーム間で論理に一貫性をもたせようと連携を取ったりする姿が見られて、教員としてとても嬉しく思いました。また、他校さんがどのようにディベートに取り組まれているのかを知る機会もなかなかないので、生徒たちが交流していた内容が私にとっての学び・気づきになりました。ありがとうございました。

・私自身もジャッジの際のアドバイスなど学ぶことが多く、とてもよかったです。普段は寡黙な生徒も生き生きと活動していました。本日はzoomでしたが、状況が改善されて対面での試合が叶う日を願っています。ありがとうございました。

・社会の様々な問題に対して様々な視点から考え、それを堂々と発表する姿に感心しました。今年も貴重な経験の場を与えていただきありがとうございました。

・生徒たちが英語を駆使しながら、自分の伝えたいことを伝えようとし、相手の言いたいことを理解しようとする姿に感動致しました。